

- ・特集「いわて希望塾」
- ・寄稿(県子ども会育成連合会会長)
- ・第25回「観武ヶ原まつり」



青少年 いわて

青少年とともに歩んで
50th
これまでも これからも
2016
09

沿岸地域で「いわて希望塾」を 開催しました！



平成28年7月31日(土)～8月1日(月)の2泊3日、陸中海岸青少年の家(山田町)で開催の「いわて希望塾」に県内各地から119名の中学生、活動をサポートする青年サポーター21名が集まり、震災からの「復興」が進む沿岸地域において、実際に避難道を歩き被災状況や復興の様子を見聞しました。

また、市町村の枠を越えた交流活動、「復興」について事前に「地域の声」を集めてきたほか、調べたこと等を持ち寄ってグループワークを行い、最終日には岩手の「復興」や地域づくりについて「未来への宣言・メッセージ」として発表しました。

初めのうちは不安と心配でいっぱいだった参加塾生も、班活動やグループワーク等の活動をするなかでみんなと仲良くなっていました。

復興についての理解や色々な考え方・視点を、このいわて希望塾で学んだことは参加者すべて大切な思い出となり、良い経験となったのではないのでしょうか。

3日間に学んだことを学校、地域に伝え、積極的に岩手の復興や地域づくりを担うよう期待しています。



毎月第3日曜日は いわて家庭の日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
『いわて家庭の日』を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部





平成 28 年度「いわて希望塾」実施概要

☆目的

震災からの「復興」が進む沿岸地域において、体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、「復興」についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の「復興」や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。

☆期 日 平成 28 年 7 月 30 日 (土) ～ 8 月 1 日 (月) 2 泊 3 日

☆会 場 (1) 岩手県沿岸地域 (宮古市・山田町・大槌町)

(2) 岩手県立陸中海岸青少年の家

☆参加者 (1) 塾 生 県内各地中学生 119 名

(2) 支援者 青年サポーター 21 名 (地域で活躍する青年)

主な内容・日程

1日目 7月30日 (土)

- ◇ コース別学習 (宮古市・山田町・大槌町)
- ◇ オリエンテーション
- ◇ アイスブレイキング
- ◇ コース別学習ふりかえり
- ◇ 講演「私たちにできること」
講師：アンダーエイジさん
- ◇ サロン「未来へのヒント部屋」

2日目 7月31日 (日)

- ◇ コース別学習発表
- ◇ グループディスカッション①
- ◇ 全体写真撮影
- ◇ 講話「塾長メッセージ (知事講話)」
塾長：岩手県知事 達増 拓也
- ◇ 塾長 (知事) との対話
- ◇ グループディスカッション②
ワークショップ「自分たちにできることを考える」
講師：八重樫綾子氏・佐藤大介氏
- ◇ サロン / 作業グループタイム

3日目 8月1日 (月)

- ◇ 未来への宣言 (全体発表)
- ◇ ふりかえり

1日目 7月30日 (土)

13:00 コース別学習

震災からの「復興」が進む沿岸地域において、体験的活動や「復興」についての学び

山田

市街地 (説明) ～復興案内所
(写真・映像上映) ～御蔵山 (説明)



宮古

田老駅～防潮堤 (説明) ～
たろう観光ホテル (見学・DVD 上映)



大槌

復興資料館 (市街地の模型を使った学習、展示物)
～旧大槌町役場～町方地区～蓬莱島



15:30 開会 オリエンテーション

講師・青年サポーター紹介、施設利用等説明

16:20 アイスブレイキング

緊張をときほぐすためのゲームや運動など



17:00 コース別学習 ふりかえり

3 つのコース別に「復興」についての学びを他の塾生と共有

ミニ・アイスブレイキング
コース別学習についての感想等共有

19:00 公演・トーク 「私たちにできること」

アンダーエイジさんによる公演・トークショー

公演とトークショー：アンダーエイジさん



20:00 サロン 「未来へのヒント部屋」

「テーマ」に分かれて「しゃべり場」"ともに考える時間"
※テーマ例「部活動」、「恋愛」、「地元について」などなど



2日目 7月31日(日)

8:30 コース別学習
発表 3つのコース別に「復興」についての学びを、発表・他の塾生と共有

9:00 グループ
ディスカッション① 自分達が調べてきた事前課題(地域の人10人の希望する
岩手)を持ち寄って自分達の考えを話し合う

総合コーディネーターの八重樫綾子氏、佐藤大介氏による
ワークショップ

13:00 写真撮影 集合写真撮影

13:10 塾長メッセージ
(知事講話)・対話

「復興」と「ふるさと復興」

塾長：岩手県知事 達増 拓也

- 1 「復興」
- 2 「ふるさと復興」
- 3 「夢・希望が大きくふくらむ取組」
- 4 岩手の青少年に期待すること

14:40 グループ
ディスカッション② 調べてきたこと、話し合ったことを、「未来への宣言・メッセージ」
として自分達が望む地域の将来の姿を模造紙にまとめる作業

19:30 サロン/作業
グループタイム グループディスカッションの成果品の手直しなど

3日目 8月1日(月)

9:00 未来への宣言
(全体発表) 班員の半分が残り説明、残りの班員が見て回り、
自分の班以外に1ポスターにつき1票シールを張る

10:30 ふりかえり ふりかえりシート、アンケートの記入、修了証配布

12:30 閉会

未来についての熱い
希望と提言

参加者感想

今回の参加を受けて、何かしたいことがあれば、ためらわずに挑戦すべきだと思いました。コース別学習では、今の被災地の現状を知ることができました。また、被災者が今、何が必要なのかについても分かりました。グループディスカッションでは、初対面の相手と短期間のうちにコミュニケーションを取り、夢・希望について語り、考えることができました。

今回の貴重な経験を機に、いろいろな分野に挑戦し続けていきたいと思います。

(県央 中2 男子)

3日間お疲れ様でした。

全員バラバラの中学校から集まった子たちだったけど、生徒どうしすぐに仲良くなっていたようで安心したし、嬉しかったです。私たちサポーターとも仲良くしてくれてありがとう！また会える日までお互いがんばろうね。

青年サポーター(ちーちゃん)

この「いわて希望塾」では、震災復興についてより考えを深めることができました。震災から5年がたち、ニュースの話題になることが少なくなり、風化が感じられます。何か被災地の方々のためになることをしたいと思っても、何をすればいいのかわからなく、何もできずにいました。そんな時、この希望塾に参加したら、何をしたらいいかわかるのではないかと思います。コース別学習、グループディスカッションを通じて、良いところ・課題を知り、何をすればいいのかというのが分かりました。自分が何をすべきか、それがはっきりしました。希望塾に参加して良かったと思います。ありがとうございました。

(県南 中2 女子)

一人ひとりが岩手の未来について考え、行動することにより少しでも早い復興、よりよい岩手が築けると思います。周りの人々に感謝することを忘れず、頑張っていって欲しいです。

青年サポーター(みさきち)



青年サポーターのみなさん

ジュニアリーダーの被災地の支援活動

岩手県子ども会育成連合会 会長 三浦 保治

毎年暑い最中、岩手県ジュニアリーダー活動集会を実践している。子どもゆめ基金助成活動として、子ども会はもちろんのこと広く県内で活動する中学生・高校生に参加を呼びかけ実施している。

この事業は、中学生・高校生が自ら企画立案し活動を実施することに重点をおき、市町村ジュニアリーダークラブから進んで参加した中高生が実行委員会を組織して取り組んでいる。

平成25年から平成26年は、東日本大震災での大津波で被災した宮古市のグリーンピア三陸みやこを会場に開催した。グリーンピア三陸みやこは、ホテル(宿泊施設)、流水プール、体育施設などを有する広大なリゾートエリアであるが、被災した住民の避難所として仮設住宅405世帯、仮設保育所、仮設商店街が設置されていた。

子ども会の被災地支援事業として、幼児、小学生、中学生、住民の人たちを対象に、子ども会活動で触れ合い、心を癒し、元気になってもらうことをねらいとして事業を展開した。

初めての被災地でのボランティア活動として、ジュニアリーダーたちは何度も計画を練り直して「岩手県ジュニアリーダー地域と触れ合う活動集会わんぱくまつり in

みやこ」の活動プログラムを創りあげ、グリーンピア三陸みやこの広い体育館を会場として設営した。

開会の午後6時前には、仮設団地の高齢者の方と牛乳パックを利用して作り上げた「夢灯り」が体育館の会場前の通路をほのかに照らした。

開会すると、創意をこらしたバルーンのアーチ、花通路を通り、子ども達と家族の方々が次々と入場して、子ども達の笑顔と喜ぶ声が館内いっぱい広がった。段ボールで制作した「お化け屋敷」では、愉快なお化けに会い大喜びの子ども達、「ジャンケンロボット」に次々とチャレンジする子ども達、「バルーンプール」では、幼い子どもが歓声をあげて遊んだ。会場の中央に設置された「夢の木オブジェ」では、家族の方が夢を書いた紙を夢の木にはり、最後には夢の木が満開になった。

活動したジュニアリーダーの皆さんが一番喜んだのが「子どもや家族の方の笑顔」と来場された家族の皆さんから「宮古にまた来てね」と声をかけられた事だったと感想を述べている。

活動集会では、多くの課題にチャレンジしながら活動をして学んだ事を今後の活動につなげてほしいと願うものである。



第25回 観武ヶ原まつり



日 時：平成28年9月3日(土)
時 間：10:00～15:00
開 場：岩手県青少年会館隣接地

9月3日(土)、盛岡市みたけの岩手県青少年会館隣接地で開催された、第25回「観武ヶ原まつり」に参加協力しました。青年ボランティアの協力により出店した「スーパーボール作り」は大盛況で、午前中で終了となりました。

地域の子供達は餅まきや舞台発表、親子もちつき大会、バンブーチャレンジ大会、抽選会、屋台等、一日中満足した様子で、ボランティアも様々なイベントに活躍して祭りを盛り上げました。



青少年なやみ相談室

どうしていいかわからない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか？
相談は無料です。秘密は固く守ります。

電 話：019-606-1722



相談受付時間：9時～16時(アイーナ休館日を除く毎日)

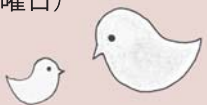
9時～20時(月曜日・木曜日)

メール：nayami@aiina.jp(24時間受付中)

面 接：事前の予約が必要です

詳細はホームページ

(<http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/>) をご覧ください。



情報メディア「出前」講座

PTA関係者や保護者等からの要望に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座を開催します。

講演時間：30分から90分程度(質疑応答時間別)

テ ー マ：要望に応じて内容を調整します



例) 青少年が関わるネット・スマホトラブルと対策
ネットでのマナーやコミュニケーションの注意点

※ 派遣を希望する団体は、講座開催希望日の1ヶ月前までにお申込みください。

お問い合わせ・申込先(青少年活動交流センター)

2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

頑張る岩手の青少年を応援します



2016 希望郷 いわて大会

第16回全国障害者スポーツ大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

本大会：2016/10/01(土)～11(火)

水泳競技：2016/09/04(日)～11(日)



2016/10/22(土)～24(月)

いわて国体・大会承認 第27-11号